

2024 年度

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名	坪田裕司				
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年

【授業の目的・ねらい】

救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。

【実務者経験】

消防機関に入職後約39年間を救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。

【授業全体の内容の概要】

基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げる救急救命士を目指す。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	資器材の取り扱い	隊長パック 各種資器材
2	一次救命処置	シュミレーター
3	一次救命処置 (AED)	シュミレーター AED
4	応急手当 (三角巾=固定法・止血法)	三角巾
5	ストレッチャー基本動作、回復体位	ストレッチャー
6	異物除去 (ハイムリック法・背部叩打法・マギール鉗子)	各種トレーナー
7	搬送法 (徒手搬送=一人法・二人法・三人法) ターポリン担架・ストレッチャー搬送	ターポリン担架 ストレッチャー
8	バイタルサイン測定	血圧計、聴診器
9	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 個別	血圧計、聴診器 ペンライト
10	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 隊活動	血圧計、聴診器 ペンライト
11	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 隊活動復習	血圧計、聴診器 ペンライト
12	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 隊活動復習	血圧計、聴診器 ペンライト
13	隊活動: 一次救命処置 (状況評価・初期評価・CPR) 2隊並行	セーブマン・SimMan AEDトレーナー
14	隊活動: 一次救命処置 (状況評価・初期評価・CPR) 2隊並行	セーブマン・SimMan AEDトレーナー
15	隊活動: 一次救命処置 (状況評価・初期評価・CPR) 2隊並行	セーブマン・SimMan AEDトレーナー

【使用教科書・教材・參考書】

【使用前検査】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル

【準備學習・時間外學習】

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

OSCE試験（履修規定に準じる）

2024 年度

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名	坪田裕司				
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年

【授業の目的・ねらい】

救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。

【実務者経験】

消防機関に入職後約39年間を救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。

【授業全体の内容の概要】

基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げる救急救命士を目指す。

回数	講義内容	準備物(教材)
16	隊活動：一次救命処置（状況評価・初期評価・気道異物）窒息傷病者	セーブマン AEDトレーラー
17	隊活動：一次救命処置（状況評価・初期評価・気道異物）CPA傷病者	セーブマン AEDトレーラー
18	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）	セーブマン AEDトレーラー
19	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）	セーブマン AEDトレーラー
20	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価	セーブマン AEDトレーラー
21	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価	セーブマン AEDトレーラー
22	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価	セーブマン AEDトレーラー
23	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価	セーブマン AEDトレーラー
24	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）心停止波形の評価	セーブマン TEC2603
25	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）心停止波形の評価・容態変化後の再確認	セーブマン TEC2603
26	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）心停止波形の評価・容態変化後の再確認	セーブマン TEC2603
27	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認	セーブマン TEC2603
28	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認	セーブマン TEC2603
29	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認	セーブマン TEC2603
30	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認	セーブマン TEC2603

〔使用教科書・教材・参考書〕

救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル

【準備學習・時間外學習】

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

OSCE試験（履修規定に準じる）

2024 年度

授業概要

2024 年度

授業概要

2024 年度

授業概要

2024 年度

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名	坪田裕司				
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年

【授業の目的・ねらい】

急救救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。

【実務者経験】

消防機関に入職後約39年間を救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。

【授業全体の内容の概要】

基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げる救急救命士を目指す。

回数	講義内容	準備物(教材)
76	創傷処置・固定（洗浄・被覆）	セーブマン TEC2603
77	創傷処置・固定（四肢の骨折・脱臼の固定）	セーブマン TEC2603
78	創傷処置・固定（外傷による傷病者の固定）	セーブマン TEC2603
79	患者搬送（ボディメカニクス）	セーブマン TEC2603
80	患者搬送（ストレッチャー基本・応用）	セーブマン TEC2603
81	患者搬送（ストレッチャー基本・応用）	セーブマン TEC2603
82	患者搬送（徒手搬送等）	セーブマン TEC2603
83	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603
84	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603
85	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603
86	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603
87	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603
88	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603
89	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603
90	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）	セーブマン TEC2603

【使用教科書・教材・参考書】

【使用操作音教材】救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル

【準備學習・時間外學習】

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

OSCE試験（履修規定に準じる）

2024 年度

授業概要

2024 年度

授業概要

2024 年度

授業概要